PROFILE

J-POWER(電源開発株式会社) は、戦後の日本の電力不足を克服するため1952年に政府により設立されて以来、 水力発電および火力発電による電力の卸売事業を展開するとともに、日本各地を結ぶ基幹送電線による電力の託 送事業を行い、全国大の電力の安定供給に貢献してきました。

2004年には、東京証券取引所第一部に上場して完全民営化し、成長が見込まれる海外での発電事業や、風力発電、地熱発電といった再生可能エネルギーの開発等、新たなビジネスの創出にも取り組んでいます。

現在、日本の電気事業者は、電力システム改革をはじめとする様々な事業環境の変化に直面していますが、私たち J-POWERは、日本、そして世界で培った技術と実績を活かし、「エネルギーと環境の共生」を基調として、未来を 見据えた持続的な成長を目指してまいります。

J-POWERの沿革

発電設備容量の推移

発電設備容量(万kW) 2.500 1972年11月 当社初の出力100万kWを 超える大規模揚水発電所と なる新豊根発電所(出力 112.5万kW) が運転を開始 ● 1965年10月 1952年9月 周波数の異なる東西日本 2,000 — 「電源開発促進法(1952年 をつなぐ佐久間周波数変 1981年1月 7月31日法律第283号)」 換所が運転を開始 国内で初めて海外炭を主燃料 に基づき、政府出資の会 とする松島火力発電所1号機 社として設立 (出力50万kW)が運転を開始 2号機(出力50万kW)の運転 開始は同年6月 海外コンサルティング事業の展開 1.500 — ● 1962年11月 当社初の海外コンサル 1979年12月 ティング事業となるペ 本州と北海道をつなぐ北本 ルーのタクナ水力発電計 連系設備が運転を開始 画のコンサルティングを 開始 1.000 — 1956年4月 当社初の大規模水力 国内炭火力発電所の開発 海外炭火力発電所の開発 発電所となる佐久間 発電所(出力35万kW) が運転を開始 500 — 送電線、周波数変換所の整備 大容量送電線の建設 連系線、幹線の拡充 大規模水力発電所の開発 大規模揚水発電所の開発 0 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995

CONTENTS

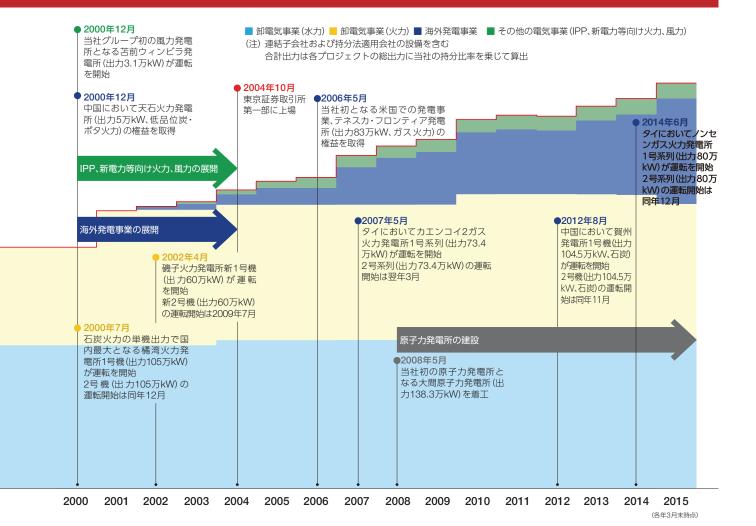
- **2** J-POWERグループ紹介
- **4** 日本全国に展開する J-POWERグループの事業
- 6 日本の電力供給システム
- 8 社長メッセージ
- 9 社長インタビュー
- 14 大間原子力発電所における 安全強化対策について(概要)
- 16 事業概況
 - 16 電気事業
 - 16 卸電気事業~火力発電~
 - 19 卸電気事業~水力発電~
 - 21 卸電気事業~送·変電(託送)~
 - 22 国内卸電気事業の料金体系
 - 23 その他の電気事業 ~IPP・新電力等向け火力および風力発電~
- 25 電力周辺関連事業
- 26 海外事業
- 30 その他の事業
- 31 マネジメントシステム
 - 32 コーポレート・ガバナンス
 - 35 コンプライアンス
 - 36 役員一覧

使命

わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する



誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする 環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる 利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う 自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる 豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する



37 FINANCIAL SECTION/FACT DATA

- 38 連結財務諸表
- 42 財務レビュー
- 48 財務・事業ハイライト
- 54 10ヵ年の連結財務データ
- 64 10ヵ年の個別財務データ
- 70 主要グループ会社一覧
- 72 会社概要·株式情報

将来見通しに関する注意事項

本誌に掲載されている計画、戦略、見込み等は、現在入 手可能な情報に基づく当社の判断により作成されてい ます。従って、今後生ずるさまざまな要素の変化により 異なる結果になり得る可能性があります。

金額等の表示について

金額および販売電力量については表示単位未満を切り 捨てています。その他の単位の数値は、特に注記のない 場合、表示単位未満を四捨五入しています。